

JLAC11 JLAC 検査名称適用細則

1. 主旨

- ・JLAC 検査名称は、JLAC11 にて新たに設定する。採番時の「ガイド」および集積データからの検索時の「キーワード」として利用することを目的とする。
- ・JLAC 独自の名称とする。

2. JLAC 検査名称の構成について

- ・JLAC 検査名称は、主に分析物(5 桁)、識別(4 桁)、材料(3 桁)の 12 桁で表現される。
- ・JLAC 検査名称は、基本的に材料・測定物・識別名称によって構成される。
- ・材料・識別名称は、必要に応じて付加する。

例)尿一般検査

3. 名称付の基本ルール(案)について

- ・名称表示は全角文字で記載し、構成は一般的な“呼び名”を基本とし利用者に馴染みの多い名称とする。
- ・一般的な呼び名の判断が困難な場合は、標準検査名称(JCCLS 案)を参考にする。
- ・名称に使用する文字数は、全角 30 文字以内とする。(算用数字を含む)
- ・材料を指定する場合には、項目名の先頭に記載する。
例)尿蛋白、尿糖、
- ・尿中・糞便中の‘中’は、原則的につけるが、レセプト名称や慣例に従う。
- ・定性・半定量・定量・分画・負荷などは必要に応じて付加する。
- ・診療報酬名称に定性・定量・半定量の区分がある項目は、検査名称に区別を入れる。
- ・抗体検査の先頭の‘抗’は、自己抗体は付け、感染症は付けない。
- ・補助的な要素を、名称の後に括弧つき()で記付することが出来る。
「JLAC 検査名称+(補助的な要素)」
- ・補助的な要素とは、別名および特に指定する測定法などとする。
例)尿沈渣(フローサイトメトリー法)
- ・測定法の表記有無は、一般的な名称や区別が必要な場合等の状況を踏まえる。
- ・依頼項目と紐着いた結果名称は、依頼項目が解るように、依頼項目名-結果項目名とする。

例)蛋白分画

蛋白分画
蛋白分画-アルブミン
蛋白分画-a1グロブリン
蛋白分画-a2グロブリン
蛋白分画-bグロブリン
蛋白分画-gグロブリン
蛋白分画-M蛋白
蛋白分画-A/G比

- ・括弧:()、ハイフン:-は、半角にする。
- ・商標名は使用しない。
例)サイロイドテスト→甲状腺サイログロブリン抗体
- ・ローマ数字は使用せず、算用数字に置き換える。
例)PIVKA-2
- ・ギリシャ文字は使用可能であるが、一般呼称として使用されている場合に限る。
- ・上付き、下付き文字は、使用しない。
- ・「,」(カンマ)については、データをそのまま CSV 形式に出力した際に不具合を生じる。
使用する場合は全角で文字として扱う、公開データとしては CSV としないなど、
注意事項として補足する必要がある。
- ・設定は臨床検査項目コード委員会で行う。